

# 新庁舎「実施設計」の概要をお知らせします

市民サービスの二層の向上と安心・安全のための防災機能の強化、また組織運営の効率化を図るため、現水口庁舎市民窓口センター前の駐車場敷地に新庁舎を建設します。



▲南東外観イメージ

## 建築概要など

- 敷地面積 約19,900㎡
- 建築面積 約5,000㎡
- 延床面積 約16,800㎡
- 構造・階数 新庁舎(本館) 鉄骨造(免震構造)5階建(一部6階建) 新庁舎(別館)【既存庁舎を改修】鉄筋コンクリート造3階建
- 車庫・倉庫 鉄骨造平屋建
- 駐車台数 約370台(乗客用約1300台(車いす用駐車場6台、思いやり駐車場8台))



▲配置イメージ

## 防災機能

- ①耐震性能 免震構造の採用により、大地震後も構造体の補修を行うことなく建物を使用でき、防災拠点としての機能を維持します。
- ②落下防止対策 地震時の天井や照明器具の落下防止を図ります。
- ③電力途絶対策 災害時には太陽光発電設備(30kW)および非常電源用の自家発電を使用し、災害発生後3日間の稼働に対応します。
- ④電力以外の熱源確保 LPGガスバルクシステムにより災害時にはガスコンロや発電機などの機器を利用できるようにします。
- ⑤落雷対策 避雷設備などを設置し落雷対策を図ります。
- ⑥給水対策 受水槽を地下ピット内に設置し、災害時の飲料水を確保します。
- ⑦排水対策 東側トイレは非常時汚水槽と連結し、下水道が寸断しても使用可能とします。

## 概算の事業費

全国的に労務単価や資材費が急激に上昇していることから、市では、基本

## 開かれた庁舎として

窓口に訪れる来庁者に配慮し十分な待合空間を確保するとともに、利用の多い窓口部門を1階に集約し使いやすい配置とします。また、高齢者や障がい者、子ども連れの方などに配慮した多目的トイレ、授乳室、キッズコーナーなどを設置します。

設計で予測された事業費の増加分を少しでも抑えられるよう、実施設計の中で、構造や使用資材の見直しにより無駄を省き、できる限りの費用削減を図りました。また、比較的新しい現水口庁舎の新館は改修し本庁舎の一部として活用します。その結果、新庁舎の建設に必要な額は、設計監理も含めて73億6千万円と見込み、財源的に有利な合併特例債や補助金を有効に活用しながら、市の財政負担の軽減を図り、事業を進めます。なお、平成27年10月から予定されていた消費税10%が先送りとなったことから、本体発注時の消費税は8%で実施します。

## 平面図概要



### 4階

1階と4階の中央部にキッズコーナーを設けます

教育委員会・産業経済部等を配置



### 5階

議場は車椅子利用者にも配慮した傍聴席とします  
議会関係や監査委員室等を設置



### 2階

1・2階は開放的な吹き抜けとします  
建設部・上下水道部・市民環境部を配置



### 3階

災害対策本部室を設置  
市長直轄組織・総合政策部・総務部を配置



### 1階

窓口関係部署を配置  
(市民環境部・総務部・健康福祉部等)

### 《凡例》

- ▲ 出入口
- ♂ 男子トイレ
- ♀ 女子トイレ
- ♿ 多目的トイレ
- エレベーター
- 授乳室

※屋上(一部6階)(平面図は省略)・・・機械設備諸室、書庫など

## 建設スケジュール

今後施工業者選定のための入札手続きを進め、議会の承認を得て本年夏頃に着工し、平成29年5月に新庁舎への移転、業務開始を目標にしています。(なお、移転後、平成29年度末にかけて既存庁舎の解体、改修、駐車場整備等を行います。)

また、工事期間中は、限られた敷地で既存庁舎を使用しながらの建設となるため、来庁者の皆さまには大変ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
新庁舎 建設工事			
既存庁舎 解体・改修			
車庫・倉庫 建設工事			
駐車場等 整備工事			

庁舎整備室  
☎65-0661 / ☎63-4561